

後期（事前学習）

回数	日付	曜日	項目「授業方法」（記号）	新SBOs	形式	時間	コマ換算時間	時限	実習内容
1	9月10日	月	後期導入講義「講義」	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	講義	2	1	3	実習書配布臨床実習および事前学習の説明シナリオの説明 感染症のリスクについて※調剤関連計算問題課題
2	9月10日	月	調剤実習「演習」	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	演習	2	1	4	処方せんを用いた秤取量の計算次回のガイダンス（5日間の説明）※身だしなみチェック
3	9月11日	火	調剤実習1「実習」 計数調剤、散剤調剤 水剤調剤、軟膏調剤 一包化+識別+監査	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	実習	5	2.5	3 4 5	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。（技能・態度） 前) 薬袋、薬札（ラベル）に記載すべき事項を適切に記入できる。（技能） 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。（技能） 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。（知識・技能）
4	9月13日	木	調剤実習2「実習」 計数調剤、散剤調剤 水剤調剤、軟膏調剤 一包化+識別+監査	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	実習	5	2.5	3 4 5	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。（技能・態度） 前) 薬袋、薬札（ラベル）に記載すべき事項を適切に記入できる。（技能） 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。（技能） 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。（知識・技能）
5	9月14日	金	調剤実習3「実習」 計数調剤、散剤調剤 水剤調剤、軟膏調剤 一包化+識別+監査	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	実習	5	2.5	3 4 5	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。（技能・態度） 前) 薬袋、薬札（ラベル）に記載すべき事項を適切に記入できる。（技能） 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。（技能） 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。（知識・技能）
6	9月25日	火	調剤実習4「実習」 計数調剤、散剤調剤 水剤調剤、軟膏調剤 一包化+識別+監査	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	実習	5	2.5	3 4 5	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。（技能・態度） 前) 薬袋、薬札（ラベル）に記載すべき事項を適切に記入できる。（技能） 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。（技能） 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。（知識・技能）
7	9月27日	木	調剤実習5「実習」 計数調剤、散剤調剤 水剤調剤、軟膏調剤 一包化+識別+監査	F(2)-②-6 F(2)-③-1 F(2)-③-3 F(2)-③-8	実習	5	2.5	3 4 5	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。（技能・態度） 前) 薬袋、薬札（ラベル）に記載すべき事項を適切に記入できる。（技能） 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。（技能） 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。（知識・技能）
8	9月28日	金	患者対応①服薬指導「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。（態度） 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報（症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等）を適切な手順で聞き取ることができる。（知識・態度） 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。（技能・態度） 6) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤（眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等）の取扱い方法を説明できる。（技能・態度） 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。（技能）
9	10月1日	月	患者対応②疑義照会「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。（態度） 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報（症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等）を適切な手順で聞き取ることができる。（知識・態度） 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。（技能・態度） 6) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤（眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等）の取扱い方法を説明できる。（技能・態度） 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。（技能）
10	10月2日	火	患者対応③OTCカウンセリング販売「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。（態度） 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報（症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等）を適切な手順で聞き取ることができる。（知識・態度） 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。（技能・態度） 6) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤（眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等）の取扱い方法を説明できる。（技能・態度） 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。（技能）
11	10月4日	木	患者対応④OTCカウンセリング販売「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。（態度） 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報（症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等）を適切な手順で聞き取ることができる。（知識・態度） 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。（技能・態度） 6) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤（眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等）の取扱い方法を説明できる。（技能・態度） 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。（技能）

12	10月5日	金	患者対応⑤⑥服薬指導・薬歴作成「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度) 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。(技能・態度) 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度) 5) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い方法を説明できる。(技能・態度) 6) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)
13	10月9日	火	患者対応⑤⑥服薬指導・薬歴作成「演習、ロールプレイ」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度) 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度) 5) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い方法を説明できる。(技能・態度) 6) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)
14	10月11日	木	患者対応⑦在宅「演習、ロールプレイ」	F(5)-①-1 F(5)-①-2 F(5)-①-3	演習 ロール プレイ	5	2.5	3 4 5	1) 前) 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。 2) 前) 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。 3) 前) 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。
15	10月12日	金	服薬指導・患者情報・薬歴作成で重要なことを討議する「SGD」	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	SGD	5	2.5	3 4 5	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度) 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度) 5) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い方法を説明できる。(技能・態度) 6) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)
16	10月15日	月	患者情報の収集 バイタルサイン フィジカルアセスメント「講義」	F(3)-①-3 F(2)-④-15 F(3)-④-11	講義	4	2	34	3) 前) 身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。 15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能) 11) 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
17	10月16日	火	患者情報の収集 バイタルサイン フィジカルアセスメント「実習」 ①バイタル ②シミュレーター ③TDM ④電解質・計算	F(3)-①-3 F(2)-④-15 F(3)-④-11	実習	5	2.5	3 4 5	3) 前) 身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。 15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能) 11) 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
18	10月18日	木	患者情報の収集 バイタルサイン フィジカルアセスメント「実習」 ①バイタル ②シミュレーター ③TDM ④電解質・計算	F(3)-①-3 F(2)-④-15 F(3)-④-11	実習	5	2.5	3 4 5	3) 前) 身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。 15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能) 11) 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
19	10月19日	金	患者情報の収集 バイタルサイン フィジカルアセスメント「実習」 ①バイタル ②シミュレーター ③TDM ④電解質・計算	F(3)-①-3 F(2)-④-15 F(3)-④-11	実習	5	2.5	3 4 5	3) 前) 身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。 15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能) 11) 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
20	10月22日	月	患者情報の収集 バイタルサイン フィジカルアセスメント「実習」 ①バイタル ②シミュレーター ③TDM ④電解質・計算	F(3)-①-3 F(2)-④-15 F(3)-④-11	実習	5	2.5	3 4 5	3) 前) 身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。 15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能) 11) 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)
21	10月25日	木	病院調剤実習「ガイダンス」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6 F(3)-③-4	講義	4	2	3 4	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 4) 前) 皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる

22	10月26日	金	病院調剤実習1「実習」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6	実習	5	2.5	3 4 5	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 ※5グループに分かれてローテーション
23	10月30日	火	病院調剤実習2「実習」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6	実習	5	2.5	3 4 5	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 ※5グループに分かれてローテーション
24	11月1日	木	病院調剤実習3「実習」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6	実習	5	2.5	3 4 5	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 ※5グループに分かれてローテーション
25	11月2日	金	病院調剤実習4「実習」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6	実習	5	2.5	3 4 5	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 ※5グループに分かれてローテーション
26	11月5日	月	病院調剤実習5「実習」	F(2)-③-5 F(2)-③-6 F(2)-③-7 F(2)-⑥-5 F(3)-③-5 F(3)-③-6	実習	5	2.5	3 4 5	5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。 6) 前) 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能) 7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能) 5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能) 5) 前) 代表的な輸液の種類と適応を説明できる。 6) 前) 患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。 ※5グループに分かれてローテーション
27	11月6日	火	余命告知「SGD」	A(1)-①-1 A(1)-①-2 A(1)-①-5 A(1)-①-7 F(1)-②-2 F(1)-②-4 F(1)-②-5 F(1)-②-7	SGD	5	2.5	3 4 5	1) 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度) 2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度) 5) 生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。(知識・態度) 7) 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。(知識・態度) 2) 前) 患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき個々の対応ができる。(態度) 4) 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度) 5) 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度) 7) 職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)
28	11月8日	木	症例解析に基づく薬物療法の実際(高血圧・糖尿病)「演習」	F(1)-③-7 F(2)-④-8 F(3)-③-1 F(3)-④-1 F(3)-④-2 F(3)-④-3 F(3)-③-7	演習	4	2	3 4	7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能) 1) 前) 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。 1) 前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる。 2) 前) 代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能) 3) 前) 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能) 7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。
29	11月9日	金	症例解析に基づく薬物療法の実際(心疾患・感染症)「演習」	F(1)-③-7 F(2)-④-8 F(3)-③-1 F(3)-④-1 F(3)-④-2 F(3)-④-3 F(3)-③-7	演習	4	2	3 4	7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能) 1) 前) 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。 1) 前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる。 2) 前) 代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能) 3) 前) 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能) 7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。

30	11月12日	月	症例解析に基づく薬物療法の実際（脳血管障害・精神神経疾患）「演習」	F(1)-③-7 F(2)-④-8 F(3)-③-1 F(3)-④-1 F(3)-④-2 F(3)-④-3 F(3)-③-7	演習	4	2	3 4	7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。 (技能) 1) 前) 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。 1) 前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる。 2) 前) 代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。 (知識・技能) 3) 前) 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能) 7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。
31	11月13日	火	症例解析に基づく薬物療法の実際（免疫・アレルギー疾患・がん）「演習」	F(1)-③-7 F(2)-④-8 F(3)-③-1 F(3)-④-1 F(3)-④-2 F(3)-④-3 F(3)-③-7	演習	4	2	3 4	7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。 (技能) 1) 前) 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。 1) 前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる。 2) 前) 代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。 (知識・技能) 3) 前) 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能) 7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。

143 71.5

32	11月30日	木	事前学習のまとめ「講義」		講義	4	2	1 2	ガイダンス事前学習のまとめについて※身だしなみチェック
33	12月3日	月	事前学習のまとめ1「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ④計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
34	12月4日	火	事前学習のまとめ2「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ⑤計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
35	12月6日	木	事前学習のまとめ3「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ⑥計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
36	12月7日	金	事前学習のまとめ4「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ④計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
37	12月10日	月	事前学習のまとめ5「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ⑤計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
38	12月11日	火	事前学習のまとめ6「実習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習のまとめ⑥計数調剤散剤調剤水剤調剤軟膏調剤無菌操作処方せん鑑査初回面談疑義照会服薬指導などを含む※1日2課題※実際の業務の流れに沿って総合的に実践する
39	12月13日	木	事前学習実技模擬試験「演習」		実習	5	3	3 4 5	事前学習実技模擬試験